

【地域人材を活用した授業】

防災講話 「災害に強い『まち』ってなんだろう？」

9月6日（水）、胆振防災教育デーの事業として防災講話を厚真町教育委員会・社会教育グループから齊藤 烈様を講師にお招きし、北海道胆振東部地震直後の避難所での実体験をもとに、「災害に強い『まち』ってなんだろう？」をテーマにお話ししていただきました。



地震直後、「なにをすればいいのかすらわからない」中、「目の前のことをやるしかない」そんな中で齊藤さんが感じたことは、「人を救えるのは人だけであり、そのつながりもまた人がつくる」、「普段から人と人がつながっているまち～『あ、この人知っている』～」を増やすこと。



防災について考える1時間となりました。